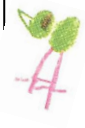
ぽぽデイだより　　NO.６９　　平成 30 年１０月号

社会福祉法人　ほっとスマイル
ぽぽデイ名塩駅前　669-1134　西宮市名塩新町 5021-11　℡０７９７－６２－０７０５
ぽぽデイ東山台　　669-1133　西宮市東山台 1-1　　℡０７９７－６２－１１６５（1F）
℡０７９７－２６－７７０５（2F）



９月は夏休み明けの生活リズムの変化、運動会の練習、気温の変化、そして台風と大雨に見舞われ、大変な一ケ月になりました。変化が苦手なお子さんたちはさぞストレスのかかる日々を過ごされたことと思います。考えてみると、そのストレスは音楽会だったり自然学校だったり、身近なところでは明日の登校の用意までも絶え間なくプレッシャーをかけてきて、子どもも大人も息つく暇もないほどです。先日、ある大学の機関誌に留学生の日本の印象についてのアンケートが載っていました。ハグをしてくれない、まじめ、清潔、と続いて「せわしない」「息苦しそう」「融通がきかない」とありました。文化の違いで感じ方が違うのはもちろんですが、生粋の日本人の私でも「もっといい加減でもいいんじゃない？」とため息が出ることが多いです。

障害を作っているのは本人ではなく周りの環境、社会の側です。枠にはめること、～でなければならないとみんなが思うことで、ますます日々の生活が難しくなってきます。その枠の中で少しでも意欲をもって、自分らしくあることに向かって努力をしているわけですが、皆さんも日々思われている通り「現実は甘くない」です。

土曜活動でプラネタリウムとスカイパークに行った帰りの電車の中、「次はどこいくの？」「もっと遠くには行けないんですか」「お泊りできる？」と今後の活動を期待する話をしていました。みんなですることが楽しい、もっとやりたいと思ってくれることが、私たちには何よりのご褒美です。そしてお子さんたちは意欲をもって主体的に活動できる大切な経験をされているように思います。ささやかではありますが、誰もがもっと気楽に成長できる社会をめざしつつ（目標は大きく！）このような活動を続けていきたいと思います。　　（K.Y 記）

１０月の児童発達支援

プール遊びも終わり、季節はすっかり秋の雰囲気が漂っていますね。これからは散歩の季節！お友達と一緒に手をつないで歩くことを楽しんだり、ひとりで坂道を一生懸命登ったり(#^.^#)東山台小学校前の坂道もあっという間に頂上まで行ってしまいます。公園に到着すると滑り台やブランコなどの遊具はもちろん、ボール遊びも大人気♪階段から転がすとどこに転がるのか予測がつかず、何度もチャレンジする姿が見られます。今月も引き続き今の時期の風をたっぷり感じたいなと思っています☆

１０月の児童発達支援　**東山台　さくら**

終わりの会等で‘しりとり’や‘ことば集め’を取り入れています。‘反対ことば’では、はじめは「よこ」の反対は？→「こよ！」と元気に答える子どもさんもいましたが、今では質問の意味を理解し、答えることを楽しんでいる姿も見られるようになりました。今月は、運動会が終わる中ごろまではゆったり過ごせることを意識し、後半は学校ごっこ（５歳児対象）の時間を設け、個々に合った対応を考えて取り組んでいきます。

１０月の放課後等デイサービス　～雨の日の室内遊び編～

ある日、大きいダンボールを見つけた小学校低学年の男の子が「家を作る！」と言いました。「誰にも触ってほしくない」と一人で黙々と作っていたのですが、ダンボールハウスが完成すると「できたよ！」と嬉しそうに知らせに来てくれました。それを見たお友達が「入ってもいい？」と次々中に入り、覗いてみると少し狭そうに４人入っていました。満員で中に入れず、屋根を叩いてしまい、ぶつかってしまう事もありましたが、大人が少し仲立ちすると、自分たちで話し合う姿が見られ、作品を通して友だちとの関係がより深まったように感じました。そのあとはクッションを持って入ったり、中で寝たりと皆の“おうち”になっていました。これらの経験を踏まえ、制作等を通してはさみやのりの使い方、テープを丁寧に貼る等道具の使い方についても見ていきたいと思います。10 月は一人ひとりの様子を見ながら積極的に戸外遊びを取り入れ、体を動かしていきたいです。

少しずつ、経験を積んで…

ぽぽデイ名塩駅前の９月第３土曜日の活動は、東山台の皆さんと合流して、伊丹市立「子ども文化博物館」へと出かけました。この文章を書いている私は他の仕事に追われて「居残り」だったのですが、一緒に出掛けた職員さんから楽しかった様子を教えてもらいました。実は去年も同じ所に出かけていますし、中にはご家庭から何度も出かけたよというお子さんもおられて、行先としてはどうかな？と思ってはいたのですが、東山台の皆さんと一緒なら、利用者の皆さんも、それはそれで楽しいのでは…と思って、送り出したことでした。さて、職員さんによりますと、見学を終えて、イオンモールのマクドで昼食をさっさと切り上げ、（職員さんが…）ゲームセンターで大枚のお金！？を使ってお菓子を取り損ねて大騒ぎをした後、ふと気が付くと、もう電車まで時間が無い！「走れー！」ということになり、参加者５人の内、脚の速い３人に、職員さんが、「先に行って、自分の切符は買っておいて！」と言い、そして３人は駆けだしたそうです。さて、しばらくして足の遅い組が駅に着きますと、その３人はちゃんと自分の切符を買っていて、そのうちの一人は「任せておいて！」とでも言うように、親指を突き立てるポーズをしたとか。さて、この「親指突き立て少年」たち、1，2 年前は、今でもその姿を覚えていますが、北口のガーデンズに行くため、宝塚駅で切符を買うのに、職員さんに「切符は自分で買って！」と言われ、路線図を見ながら、ああでもない、こうでもないと、お互いに不安そうに相談しながら、切符を買っていたものでした。あの「車移動中心、交通機関あんまり使わない」少年たちが（そのうちの一人の少年は今年から電車とバスを乗り継いで学校に通っていますが）、「時間がない状況で、自分たちでさっと切符を買う」ことができるようになっていたのです。少しずつ、経験を積んで、できることを増やして欲しい…できる、できる、できるやん！と思ったことでした。　（M 記）

スタッフの一言

今年の厳しい暑さにも子どもさん達は負けることなく元気に日々成長されていて、私の方がとても元気をもらっています。お世話になって 5 カ月になり、デイの子どもさんとも一緒に楽しく遊びに入り込めるよう頑張りたいと思います。

ぽぽデイ東山台　藤本由利子

最近みんなでゲーム大会にハマっていて、ババヌキやカルタ、ホッケーと大盛り上がりしています。私も負けじと頑張りますが、なかなか勝てず、いつもガッカリ。でも子ども達の弾けるような笑顔にいつも癒されています。

ぽぽデイ東山台　尾川　典子